

ので、遂には濱荻の見世などしつらへ、後ちに或る富家へ根びさせられ、兩親をも安堵させ、ますます孝養をつくしたといふ。彼の女の名吟として傳はるものは

うさ人に手のはづかしき火鉢哉



### 遊君瀬川

瀬川は江戸吉原、松葉屋の抱へ遊女、天性風流を好み和歌を詠み、又俳諧をもよくした。

入相にひとのいさみや今日の月

遊客三文字何某より或る日風を贈り越したる返事に

御約束の風御こし下され、早く揚て見參らせたく、こよのふ嬉しく存じまいらせ候、此狸々風こそ乙女の姿には做すとも、雲のかよひ路ぶらくとして、どこをまよひぶみせんとか、さりとてはあぶなく見へて、一まひ風のすわらぬやうにみだれ足とやらんは、餘程酔ての事が、まかし盃と柄杓落さぬは亂れあしと見えず、又たたぶげんとや、清玄風のにくげに、なまづ風のちどろしきに、からまりてお

ちて破られやせん、と心くるしきうち、風もかはりて、狸々舞を  
やめて、ゑびすくふわさもあかし、いとめのちかはぬうちはやくあ  
るしてたも、

あげられてくるしき日あり風

\*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*  
\* \* \* \* \*



附 録

鶯里焚句集

(歳 旦)

屠蘇さゝん我明暮の窓の竹  
門松や空も緑の朝ほらけ  
大津繪は鬼に譲りて飾海老  
眼に耳に清さに馴ん注連の内  
泌る間を琵琶弾そめん風爐手前  
青のりや春未た寒き海の色  
若やくや今年と思ふ勇みより  
年棚へ向けて封切る扇哉

《春之部》

駒鳥や腰にふくへの片重り  
 桃の家桃の酒よとすゝめけり  
 歌袋とけとや笑ふ妹脊山  
 野守にも見しらるゝ程遊ひけり  
 三ツ葉つむ六尺袖も見えにけり  
 山里や牛か吼ても長閑なる  
 つくくくと雨見る花の宿りかな  
 土筆とる子やそらよみの淺香山

《夏之部》

夏の月寐惜む人をてらしけり  
 夕こゝろ何かおかしき團扇かな

茶の間まで蝶舞入ぬ土用ほし  
 もろともにいさ月も見ん竹婦人  
 短夜に母引とむる禿かな  
 掛香や縫のもやうの花盡し  
 墨田川染と云ひたし花菖蒲  
 蝙蝠やちらりと見せし湯女の顔

《秋之部》

庭掃ん露も手向の星今宵  
 三日の月くせなき空の噂かな  
 静まりや釜の松風茶立むし  
 松風の何にせわしき秋の暮  
 破れく月に親しむ芭蕉哉

初雁に酒新らしう買はせけり  
月の雨小聲の謠ふけにけり  
鐘さかぬうちは夜にせず秋の雨

《冬之部》

空也忌や佛造りし角細工  
せきれいや日かけのかつら尾にさはる  
渡舟場や鳥さへ疎き冬の川  
かへり花巨燧開きの後れけり  
訪來ませ草の庵にも年の梅  
網代守心強くも老にけり  
水鳥の動かして居る灯かけ哉  
人先に春や待らん黒木うり

夢ちきれくさこねの終夜  
掛乞に水汲せたる庵主かな  
春にとて曙そめやくはり衣

\* \* \* \* \*



俳流の女神終

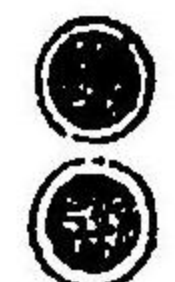
明治三十六年八月一日印刷  
明治三十六年八月三日發行

俳流の女神奥附

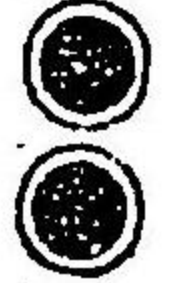


發兌

著者 東京市淺草區馬道町八丁目七番地 林 豐次 郎  
 發行所 東京市神田區錦町一丁目十番地 大 月 隆  
 印刷者 東京市牛込區市ヶ谷加賀町二丁目 弘  
 印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目 株式會社 秀英舎 工場  
 發兌元 東京市神田區錦町一丁目十番地 文學會  
 大阪市江戶堀上通 文學會大阪支部  
 廣島市四横町 文學會中國支部  
 (電話本局千〇九十三番)



文學同志會出版圖書目錄



美 妙  
 人生の氣力  
 人生の初旅  
 人生の老旅  
 人生の悔悟  
 人生の片影  
 人生の目的  
 人生經濟學  
 人物の裏面

定價二十錢 郵稅四錢  
 定價廿五錢 郵稅四錢  
 定價廿五錢 郵稅六錢  
 定價廿五錢 郵稅四錢  
 定價二十錢 郵稅四錢  
 定價二十錢 郵稅四錢  
 定價廿五錢 郵稅四錢  
 定價二十錢 郵稅四錢

吾人の生活  
 山高水長  
 風月萬象  
 斷巖絕壁  
 枕頭の山水  
 松風吟月  
 郊外散策  
 悲哀の快觀  
 萬情萬眉

定價廿五錢 郵稅四錢  
 定價二十錢 郵稅四錢  
 定價廿五錢 郵稅六錢  
 定價二十錢 郵稅四錢  
 定價二十錢 郵稅四錢  
 定價廿五錢 郵稅四錢  
 定價廿五錢 郵稅四錢  
 定價十六錢 郵稅二錢

近世社會主義評論	社會研究新論	最近國家社會主義	東洋社會黨	急務檄言	斬奸狀	精神と力量	虛心談	活學談	活精神
定價一圓 郵稅十六錢	定價一圓 郵稅十六錢	定價六錢 郵稅六錢	定價六錢 郵稅六錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢
活禪錄	禪學斷片	聖僧道元	日佛教拾二傑傳論	馬琴妙文集	滑稽妙文集	戲曲妙文集	吞氣文集	高等艶麗文集	立身の事蹟
定價五十錢 郵稅六錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅六錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅六錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價二十錢 郵稅四錢

研學の順序	青年の將來	作文指南	山水記事論說文	社交記事論說文	高等記事論說文	偉人の膽力	偉人の生長時代	頓才の詩人	閨秀の佳人
定價二十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價六錢 郵稅六錢	定價六錢 郵稅六錢	定價廿六錢 郵稅六錢	定價廿五錢 郵稅四錢	定價廿二錢 郵稅四錢	定價二十錢 郵稅二錢	定價三十錢 郵稅四錢
婦人實務錄	女子講本	活戀	戀と死	墳墓の地	失策の半生涯	成功劍	虛世四作	天籟萬丈	小文學
定價二十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅六錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅六錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價三十錢 郵稅四錢	定價十二錢 郵稅二錢	定價二十錢 郵稅四錢	定價廿五錢 郵稅四錢

小氣焔  
小哲學  
珍鳴長明海道記  
國史回國雜記  
理想の大臣  
禪學の奧義  
哲學要領  
加賀の千代  
成效者の苦學  
軍隊の側面

定價四卅錢  
定價廿五錢  
定價十五錢  
定價二十錢  
近刊  
定價五十錢  
定價六十錢  
定價五十錢  
定價六十錢  
定價二十錢  
定價四十錢  
定價二十錢

理想の政黨  
高等家庭讀本  
戀愛の精神  
人情の後見  
無能の天下  
社會學講義  
社會學と哲學  
吾家の憲法  
人生の審美  
文學の審美

定價三十錢  
定價廿四錢  
定價三十錢  
定價三十錢  
定價四十錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢

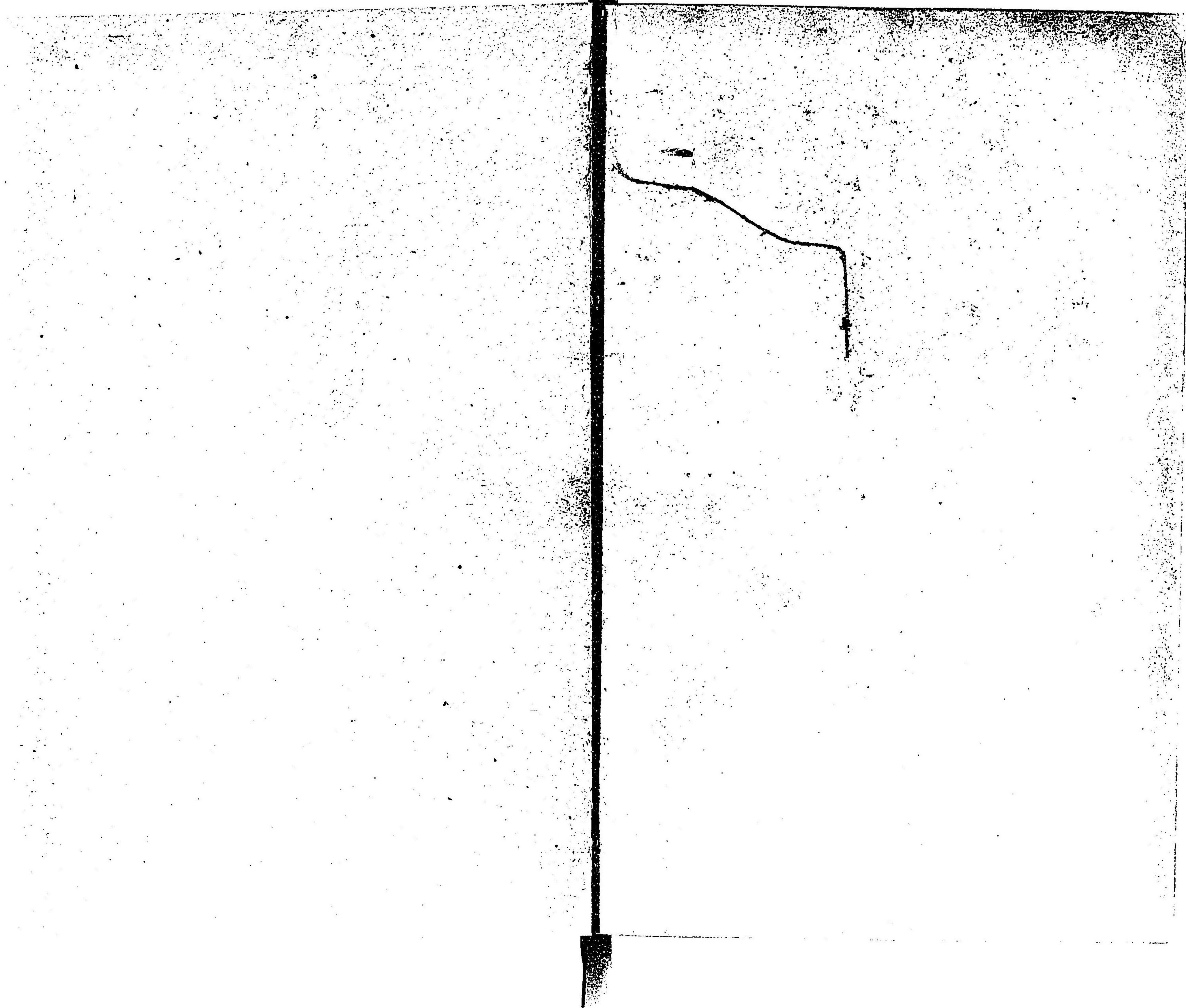
自然界的審美  
婦人の情力  
戀愛の文豪  
弱者の臨終  
英雄の片影  
心識活談  
詩經新體詩選  
改選新體詩  
詩の神  
學生の苦心

定價廿五錢  
定價三十錢  
定價三十錢  
定價三十錢  
定價三十錢  
定價三十錢  
定價三十錢  
定價三十錢  
定價三十錢  
定價三十錢  
定價三十錢

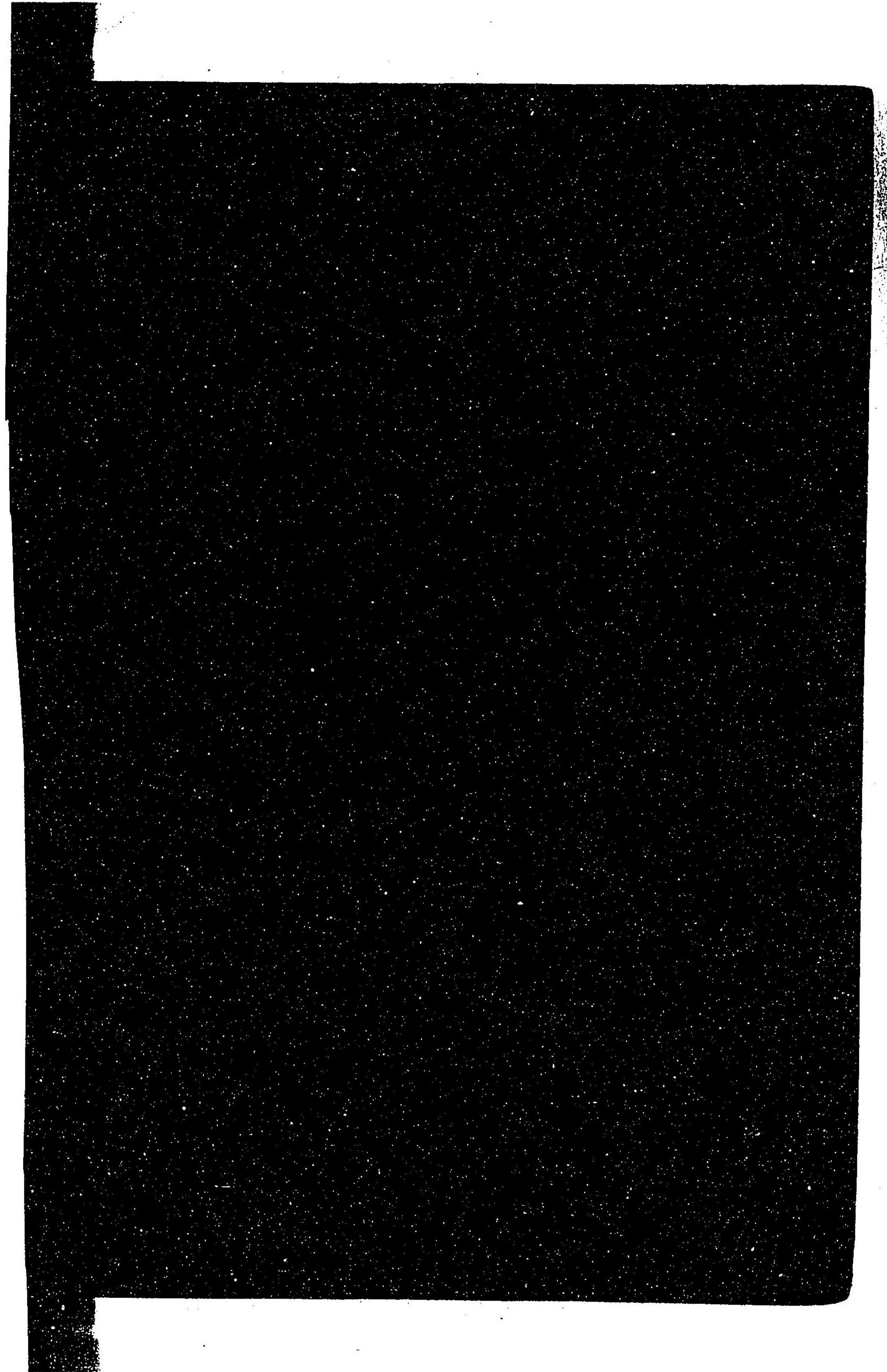
老子講義新釋  
心學養性篇  
心學道體篇  
心學人間篇  
心學道義篇  
心學迷悟篇  
心學性理篇  
心學明德篇  
心學靈性篇  
俳流の女神

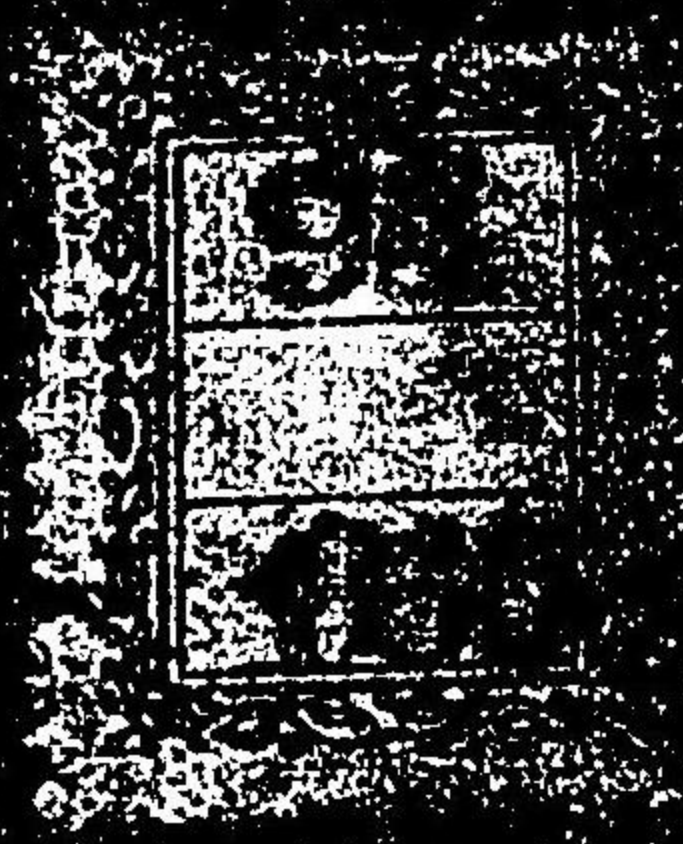
定價壹圓  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢  
定價廿五錢





94  
160





087468-000-2

94-160

俳流の女神

小林 鶯里/著

M36

DBE-0823



